



いじめ対策の「い・ろ・は」 4号

令和5年7月 発行 岡山県教育庁人権教育・生徒指導課

あと少して夏休み!児童生徒・教職員のみなさんには充実した休みを過ごしてほしいと思っています。長期休業に入る前と長期休業中の対応が2学期のスタートを左右します。

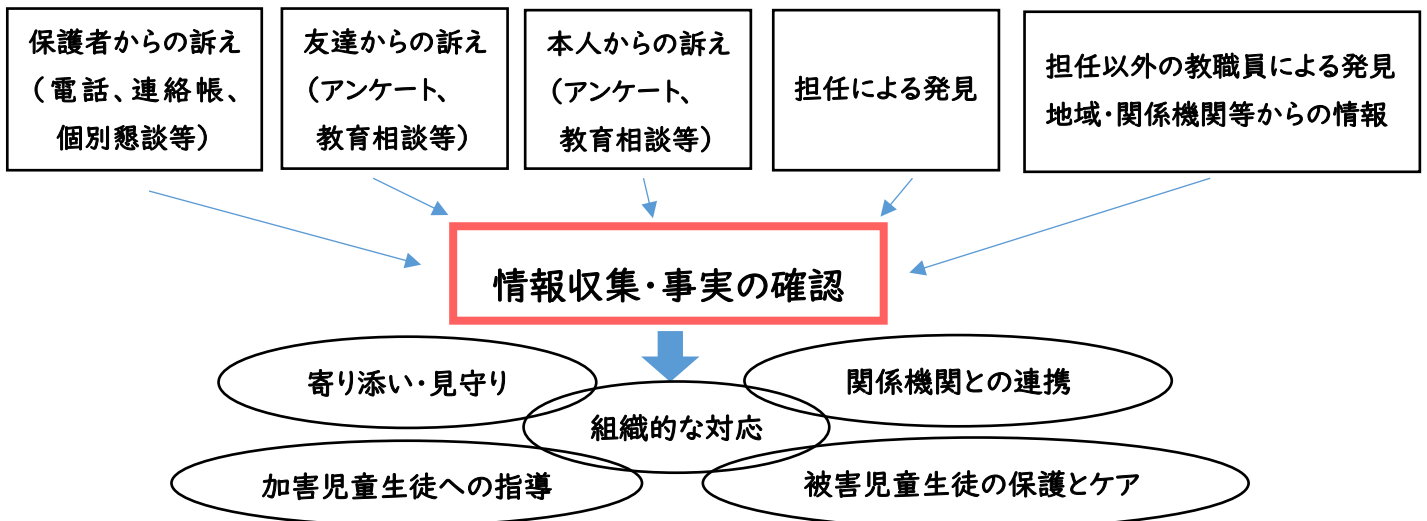
TOPIC

現在の校内の「いじめ」の状況について夏休み前に再度確認をしましょう!

各学校においては、発達支持的生徒指導の視点から、児童生徒が「多様性を認め、人権侵害をしない人」に育つような人権感覚や市民性教育を進めていただきながら、いじめの早期発見・早期対応に力を入れていると思います。

現在までに学校で認知したいじめの内、解消していない「いじめ」について夏休み前と夏休み中に確認及び対応しておくことが重要なため、今回はそのポイントを紹介します!

★いじめの発見と対応について



① 夏休み前の対応

ポイント

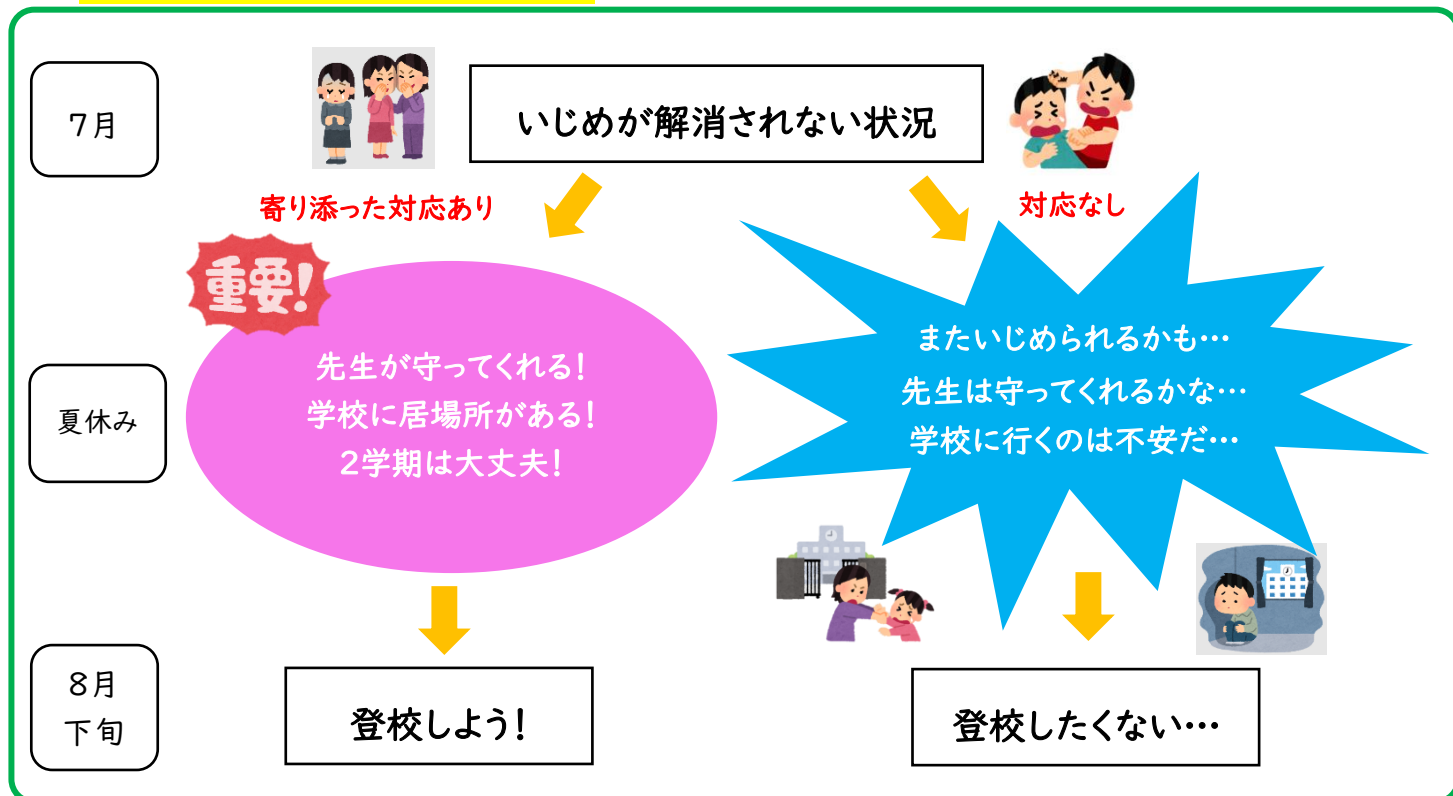
チェック

- 教育相談等で得た情報やアンケートについて、複数人で内容を再確認する。
- 現在把握している「いじめ」の状況について、担任+管理職を含めた他の教員で再度確認をする。
- 少しでもいじめに関する内容で気になることは、夏休み前に対応する。

② 夏休み中の対応

- 児童生徒と会うことができる機会を生き、心配なことがないか確認する。
(登校日・部活動・奉仕作業日・水泳(※主に小学校)等)
- 夏休み明けの登校が不安な児童生徒に安心感を与えられるよう、必要に応じて連絡(電話・ICTの活用等)・家庭訪問をする。
- 気になる児童生徒を共通理解し、夏休み明けの見守りの体制を確認する。

★児童生徒の心境を想像すると…



★学校内外で気になることがないか話し合ってみましょう!

ヒント

- ①「あだ名で呼ぶ」など、嫌な思いをしている子どもがいないか
- ②特定の子どもの掲示物がはがれていたり、破れていたりしていないか
- ③最近になって、休み時間に一人で過ごすようになった子どもはいないか
- ④遅刻・欠席が急に増え始めたり、保健室の来室が増えたりした子どもはいないか
- ⑤頻繁に文房具等の持ち物が変わっていないか(物をとられたり、隠されたりしていないか)
- ⑥特定の子どもの給食の量が多かったり、少なかったりしていないか
- ⑦特定の子どもの周りに、頻繁にゴミが落ちていることがないか(机やロッカーへの落書き等はないか)
- ⑧部活動や授業時間の参加率が落ちている子どもはいないか
- ⑨以前よく話題にしていた SNS やオンラインゲームの話をしなくなった子どもはいないか
(SNS のグループから外された、オンラインゲーム上のグループから外された)
- ⑩地域の公園や放課後、学校に来て遊ぶ姿を見なくなった子どもはいないか 等

Mini 研修

校内外で気になる子どもはいませんか?いろいろな立場から考えてみましょう!

まとめ

いじめ問題による不安が解消しないまま、夏休みを迎えると、2学期のスタートが難しくなるケースがあります。

校内の現状を再確認し、「夏休み前」と「夏休み中」にできることを考え、教職員全員で共有し、対応することが重要です。